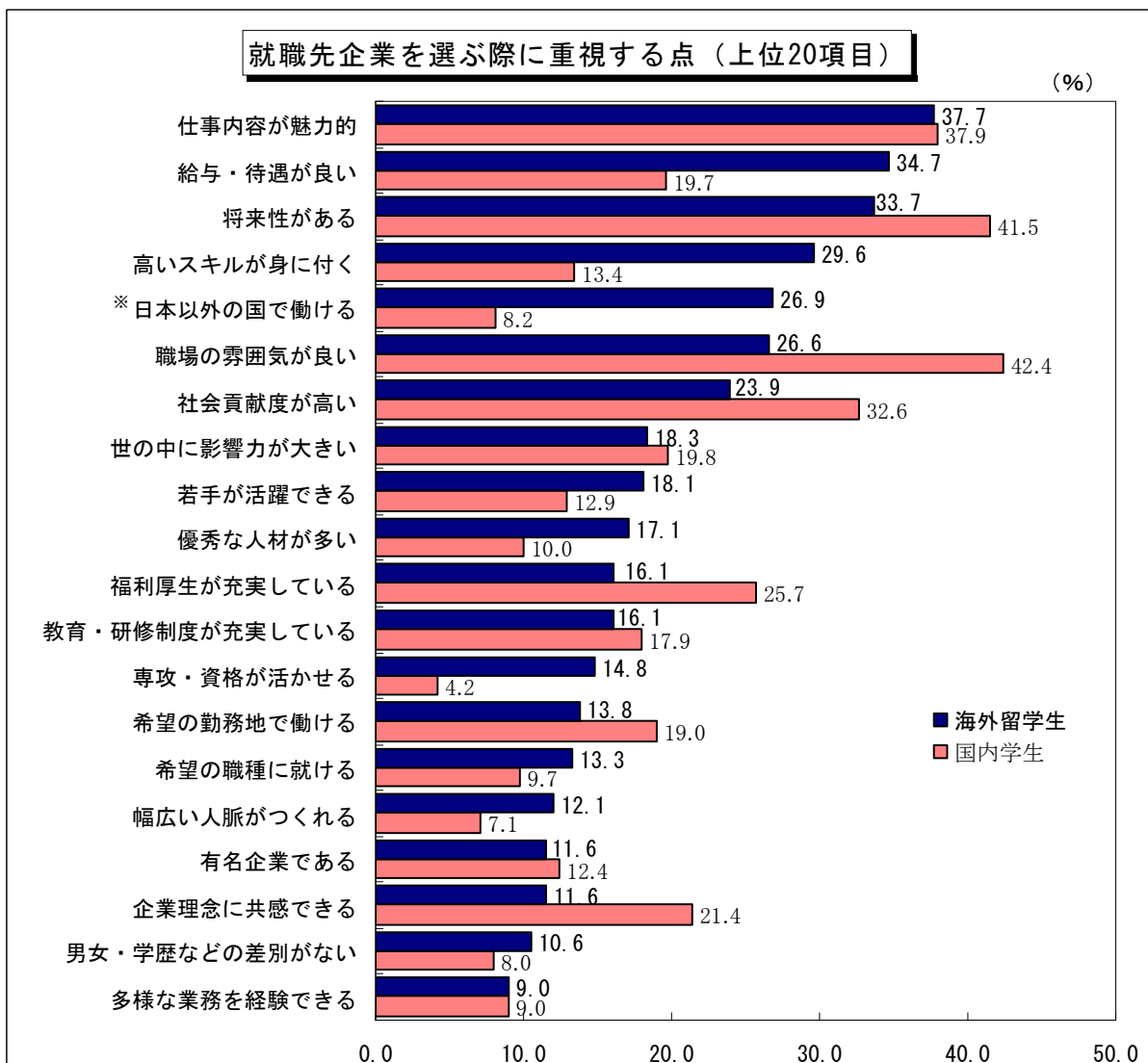


2013年度 第1回調査結果（2012年3月発行）

海外留学生のキャリア意識と就職活動状況

1. 就職先企業を選ぶ際に重視する点

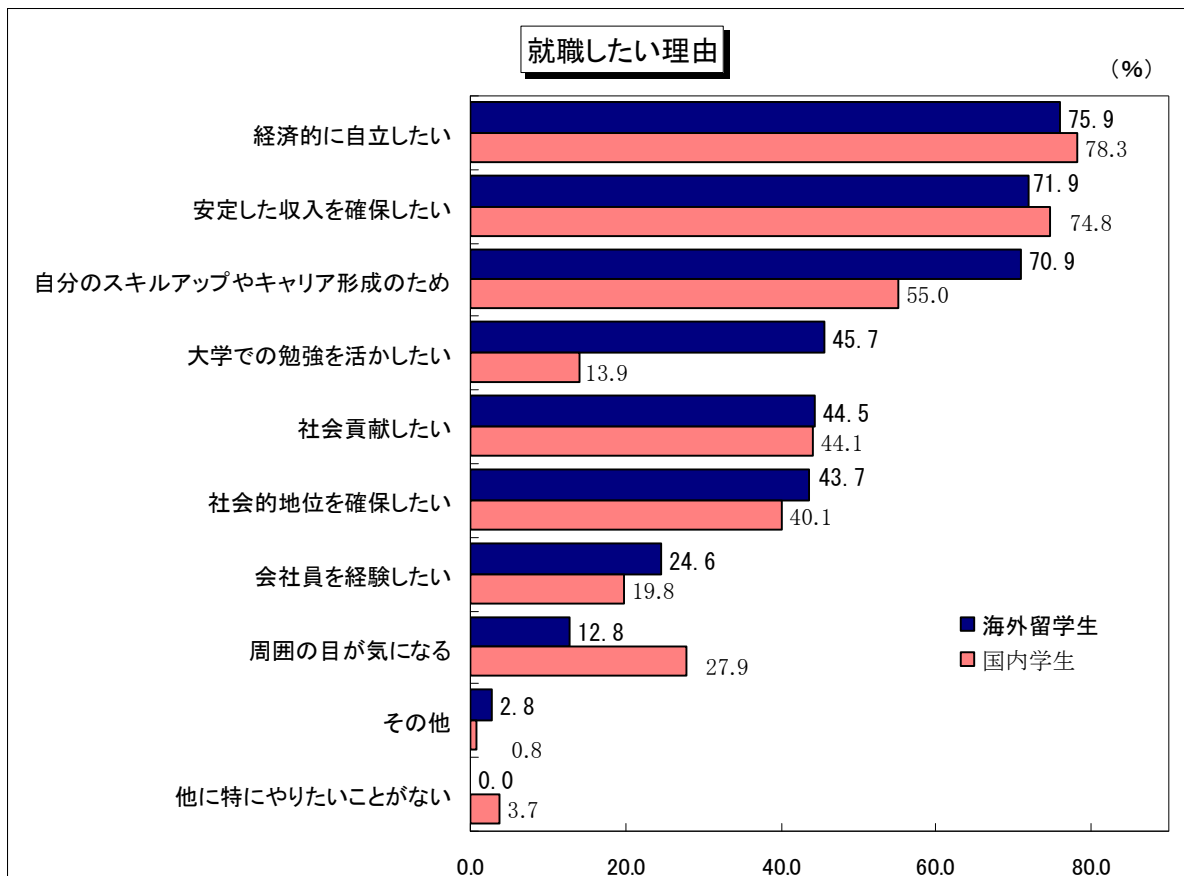
日本国外（海外）の大学で学んでいる学生、または交換・派遣留学等を終えた学生（以下、海外留学生）に対して、就職先企業を選ぶ際に重視する点を31項目の選択肢の中から5つまで選んでもらった。1位は「仕事内容が魅力的」が37.7%だが、「給与・待遇が良い」が34.7%で2位に来ており、国内学生に比べて大幅に多い。以下、「将来性がある」が33.7%、「高いスキルが身に付く」が29.6%、「日本以外の国で働ける」26.9%と続く。国内学生とは明らかに異なっており、より実利的な項目を重視する傾向があることがわかる。海外留学生を積極的に採用する企業は、留学生の価値観を意識した対応が必要となるだろう。



※「日本以外の国で働ける」は、国内学生調査では「海外で働ける」として調査

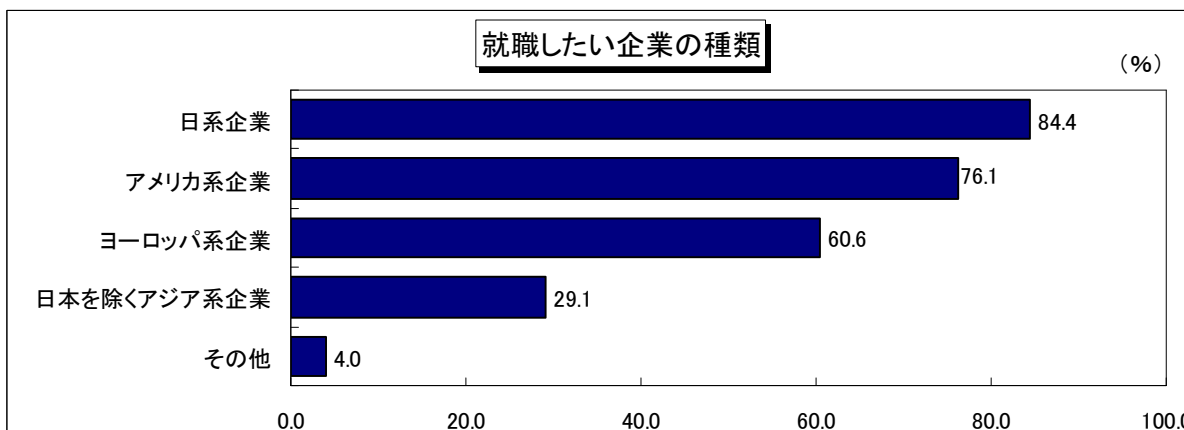
2. 就職したい理由

就職したい理由について聞いた。「経済的に自立したい」が 75.9%、「安定した収入を確保したい」が 71.9%と、国内学生と同様、経済的な理由が上位に来るが、「自分のスキルアップやキャリア形成のため」が 70.9%で国内学生に比べて 15.9 ポイント高く、「大学での勉強を活かしたい」は国内学生より 31.8 ポイント高い 45.7%となった。自分のスキルアップを意識し、大学での学びを将来の仕事に活かしたいという高い意欲がうかがえる。



3. 就職したい企業の種類

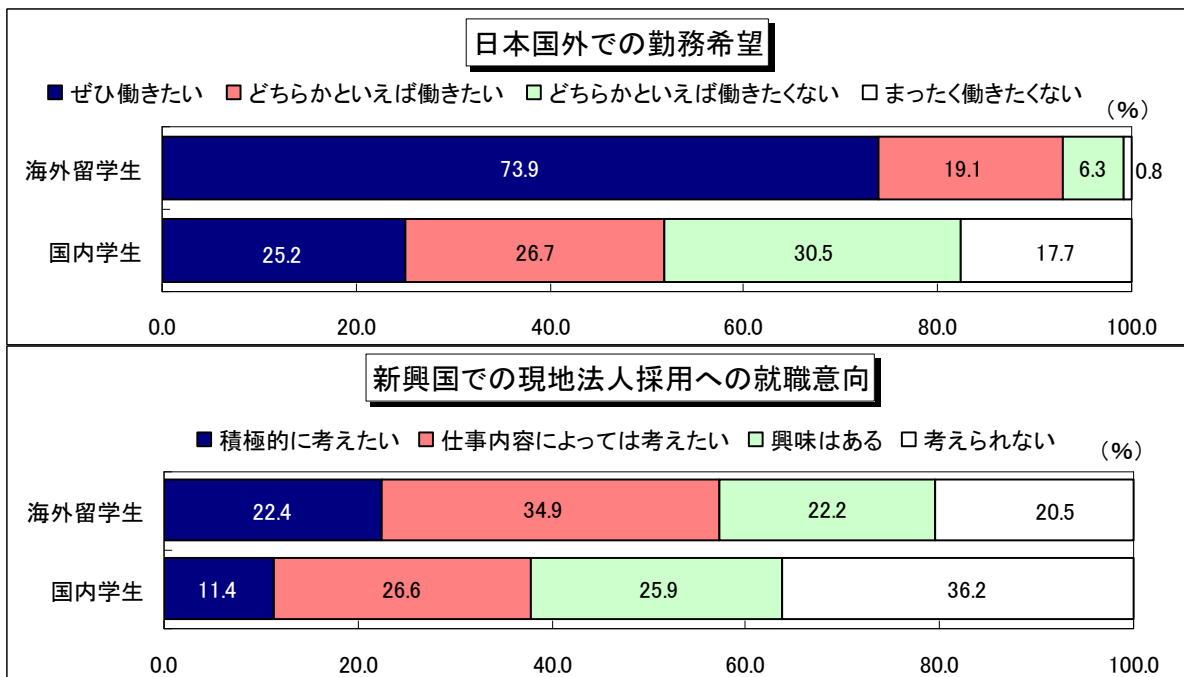
就職したい企業の種類について聞いたところ、「日系企業」が 84.4%で最も多く 1 位になったものの、「アメリカ系企業」が 76.1%「ヨーロッパ系企業」が 60.6%と、欧米企業志向も多く存在していることがわかる。



4. 日本国外での勤務希望・新興国での現地法人採用への就職意向

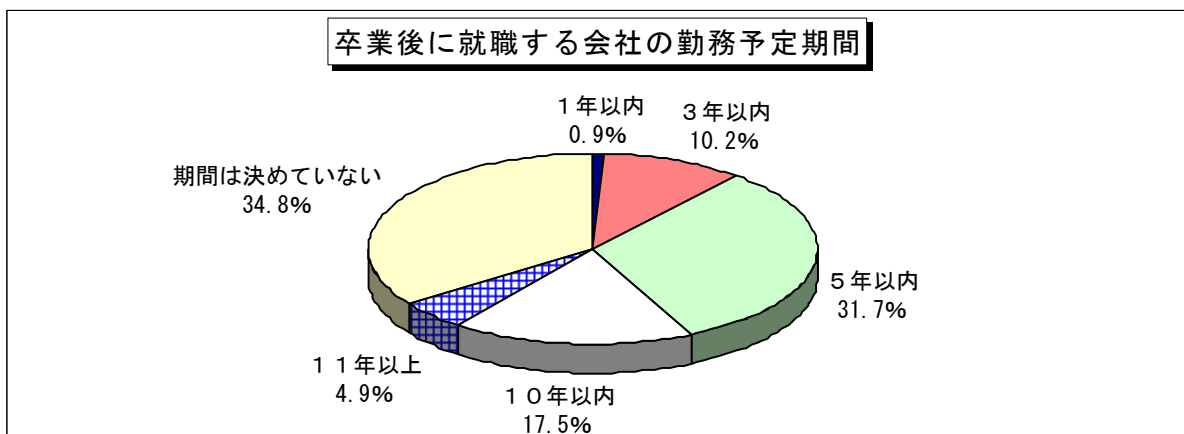
日本国外での勤務希望について聞いた。「ぜひ働きたい」が 73.9%と圧倒的に高い。「どちらかといえば働きたい」19.1%とあわせると 93%が日本国外での勤務を希望しており、国内学生の 51.9%と大きな差が開いている。

また、日本国外での勤務を希望する学生に対して、アジアを中心とした新興国での現地法人採用を就職の選択肢として加える可能性があるかを聞いたところ、「積極的に考えたい」が 22.4%、「仕事内容によっては考えたい」が 34.9%と、あわせて 57.3%になった。現地基準の賃金・待遇の採用に対しても半数以上が意欲を見せていることがわかる。海外留学経験のある学生は海外勤務に対して意識が高く、海外での事業を推進する上で戦力となる可能性が高いといえる。



5. 卒業後に就職する会社の勤務予定期間

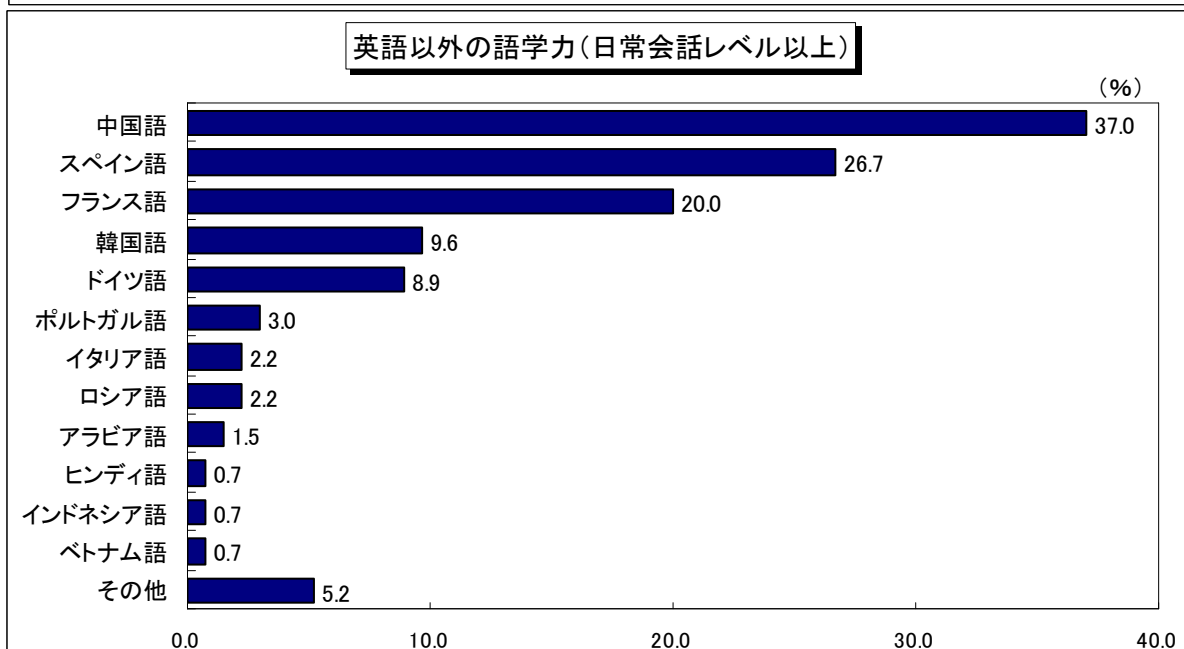
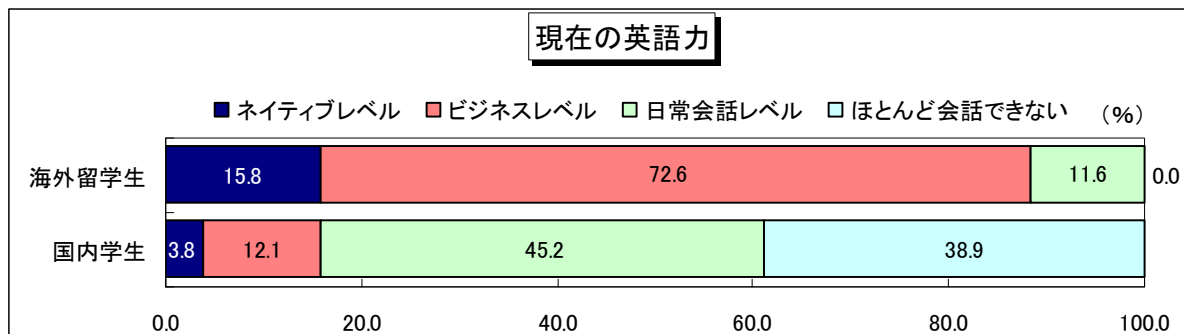
卒業後に就職する会社の勤務予定期間について聞いた。「期間は決めていない」と回答する学生が 34.8%と最も多かった。一方で、留学したことで「日本的な年功序列・終身雇用よりも欧米的な雇用に魅力を感じるようになった」といったコメントが複数みられ、「10 年以内」が 17.5%、「5 年以内」が 31.7%、などと就職期間をあらかじめ決めている学生も存在する。



6. 現在の語学力

現在の語学力について聞いた。英語力に関しては「ネイティブレベル」と回答した学生が 15.8%、「ビジネスレベル」が 72.6%と、9 割近い学生がビジネスで英語を使うことができると回答しており、国内学生の英語力と比べると圧倒的な差があることがわかる。

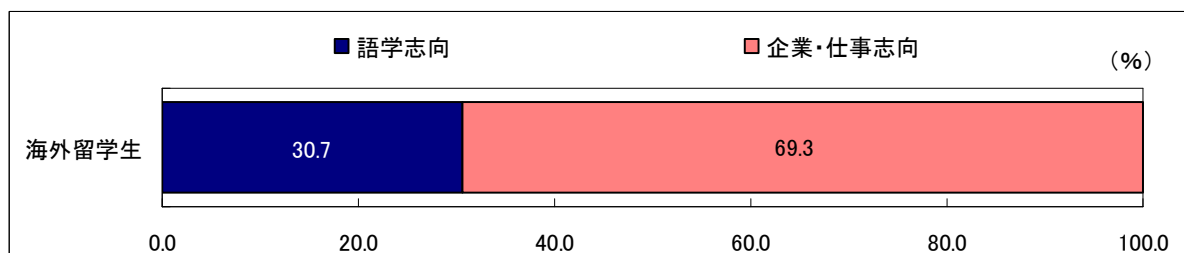
また、他の言語で「日常会話レベル」以上のものがある学生（全体の 33.9%）に聞いたところ「中国語」が 37.0%、「スペイン語」が 26.7%、「フランス語」が 20.0%となった。



7-1. キャリアに対する考え方

キャリアに対する考え方について、自分の考えに近いものを選んでもらった。

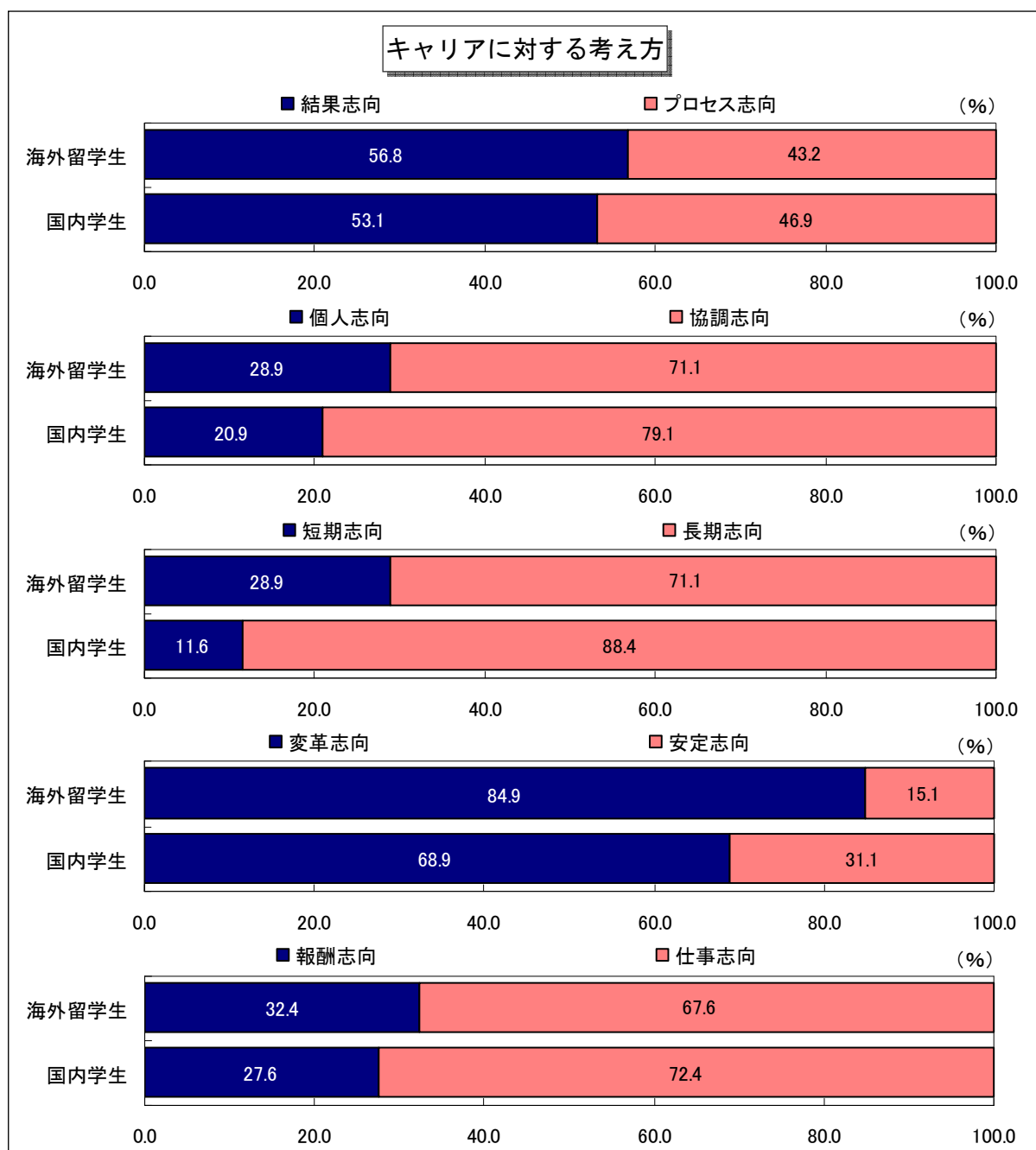
「語学志向」（業界や企業に関係なく、語学力を活かせる仕事に就きたい）か、「企業・仕事志向」（語学が活用できるかどうかに関係なく、希望の企業・仕事に就きたい）か、を聞いたところ、「語学志向」が 30.7%に対して、「企業・仕事志向」が 69.3%になった。



7-2. キャリアに対する考え方 (国内学生との比較)

キャリアに対する考え方について、海外留学生と国内の学生とで違いがあるかどうか、5 項目について、それぞれ自分の考え方に近いほうを選んでもらった。

海外留学生と国内の学生とで、キャリアに対する考え方が大きく違うのではないかと思われがちだが、いずれも多数派が逆転するほどの差は見られなかった。その中でも差が開いたのは「短期志向」⇔「長期志向」で、「短期志向」と回答した国内学生が 11.6%であるのに対して、海外留学生が 28.9%と 2 倍以上の差があった。約 7 割が「長期志向」と答えたものの短期的志向が比較的強い。また、「変革志向」⇔「安定志向」についても、「変革志向」と回答した国内学生が 68.9%に対して、海外留学生は 84.9%と 16 ポイントの差があった。留学を通じて新たな視点と柔軟性を養った海外留学生の特徴が表れているといえる。

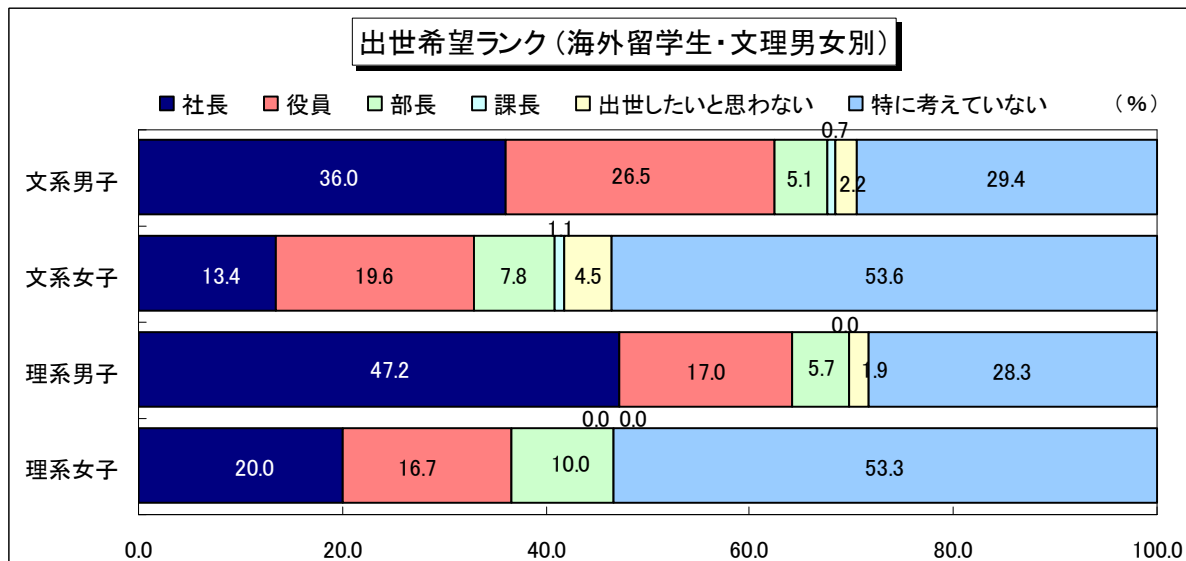
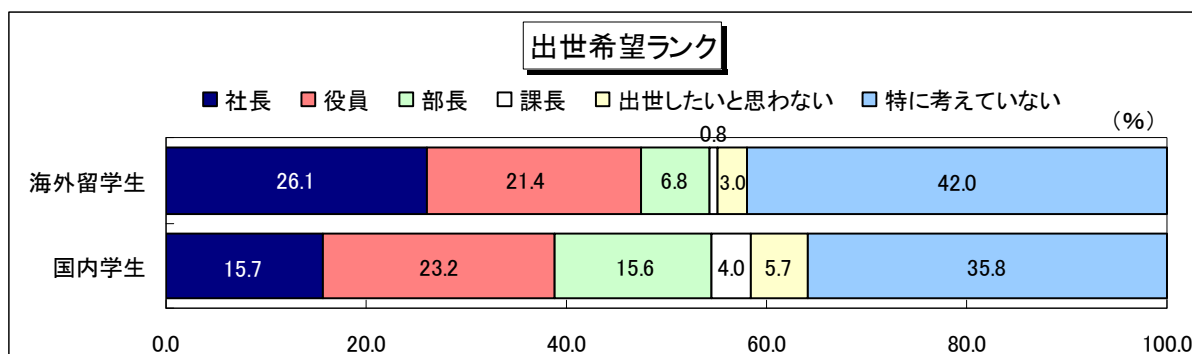


※各項目の説明は 6 ページに掲載

8. 出世希望ランク

将来どこまで出世したいのかを聞いた。全体では「特に考えていない」が最も多く全体で 42.0% となった。以下「社長」が 26.1%、「役員」21.4%と続く。国内学生よりも「社長」と回答した学生が 10.4 ポイント多かった。

この質問に関しては、男女の意識の違いが大きく表れている。「社長」の割合をみると、文系男子が 36.0%、理系男子が 47.2%と共に 1 位になるのに対して、文系女子は 13.4%、理系女子は 20.0%にとどまる。また、「特に考えていない」は、文系男子が 29.4%、理系男子が 28.3%であるのに対して、文系女子が 53.6%、理系女子が 53.3%と過半数を占める。将来のキャリアに対するイメージや、目的意識の差が大きいことがわかる。

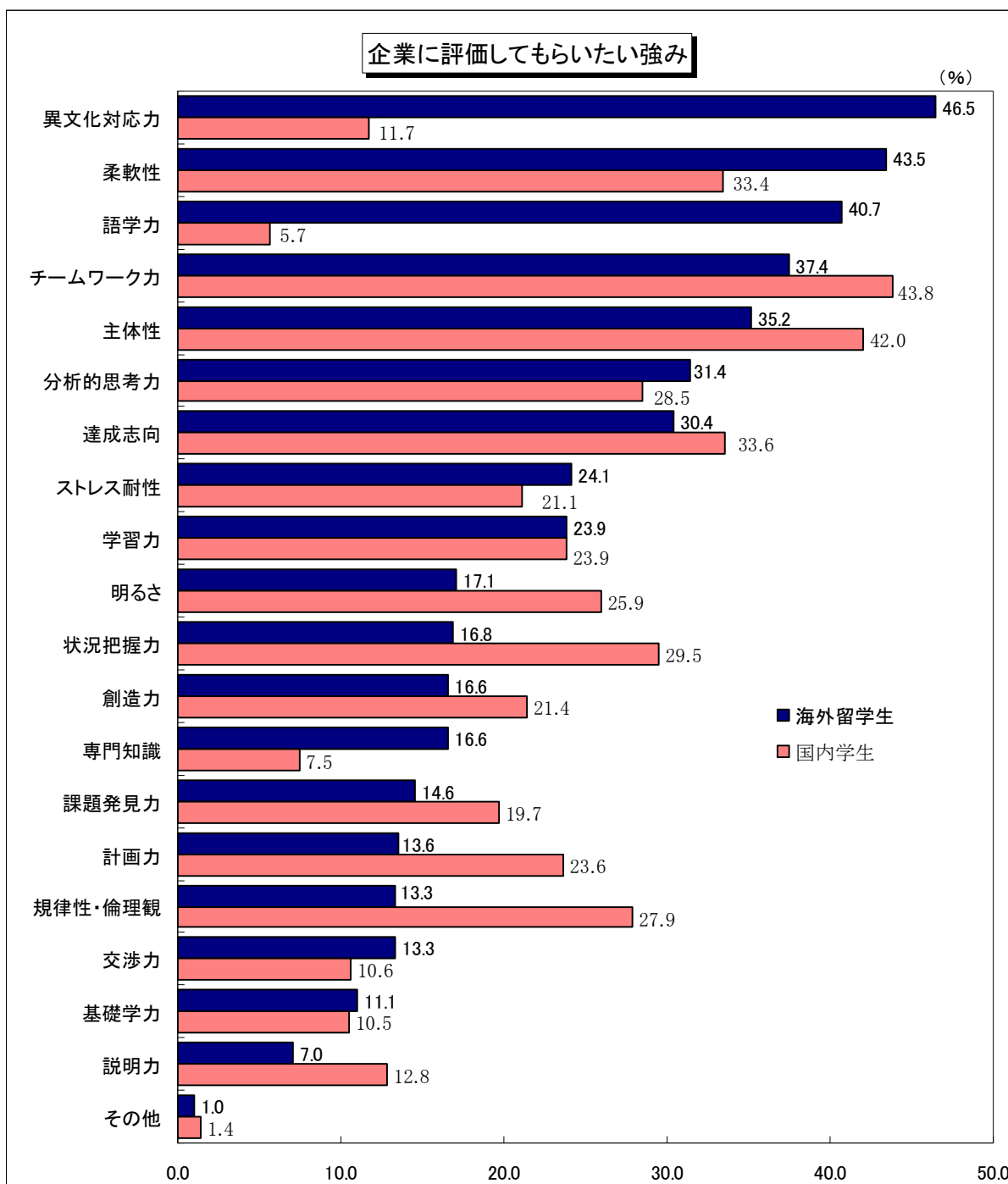


◆5ページ「キャリアに対する考え方」の各項目の説明

【結果志向】	どんなに頑張っても、結果を出さなくては意味がない
【プロセス志向】	大切なのはプロセスだ。その先に結果がついてくる
【個人志向】	自分のやるべきことをきちんとやればよい
【協調志向】	問題が発生したら協力し合って、一緒に問題解決することが必要だ
【短期志向】	環境変化の激しい時代だから、会社はその時々で必要な人材を入れ替えていくことが必要だ
【長期志向】	環境変化が激しい時こそ、しっかりとした人材を内部で育成していくことが重要だ
【変革志向】	会社は、常に変わっていかなければならない「変わろうとしないこと」がもっとも大きなリスクだ
【安定志向】	会社は変革することでよさを失うこともある「変えずに守る」ことも必要だ
【報酬志向】	仕事内容よりも、給与や待遇の高さを優先したい
【仕事志向】	給与・待遇よりも、やりがいを優先したい

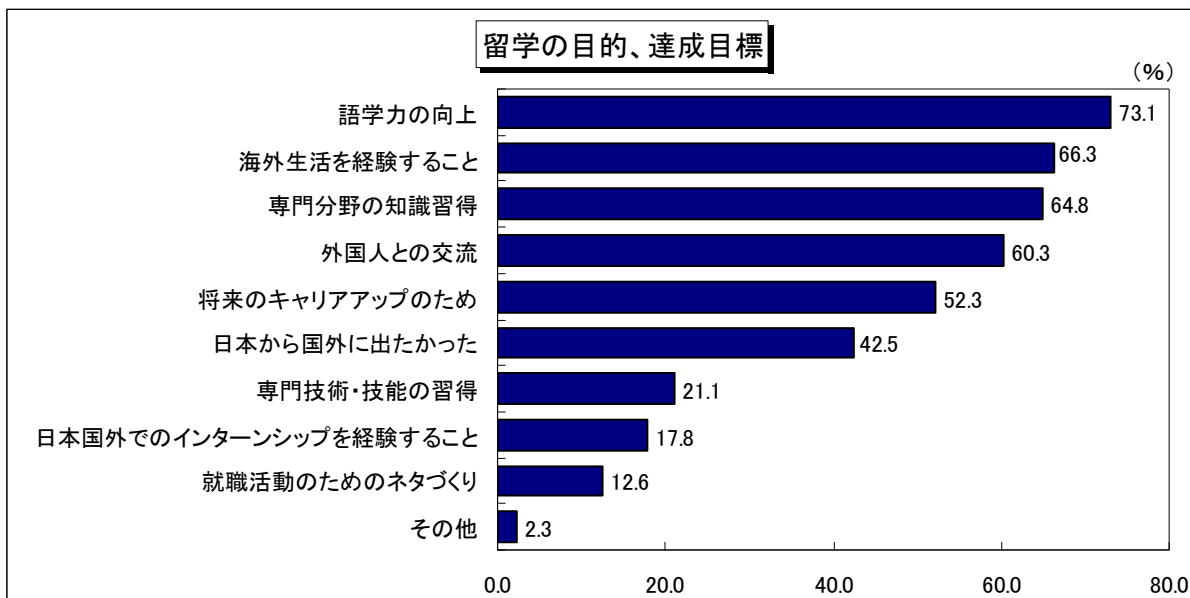
9. 企業に評価してもらいたい強み

企業に評価してもらいたい強みについて、20 項目の選択肢の中から 5 つまで選んでもらった。1 位は「異文化対応力」で 46.5%。以下、「柔軟性」43.5%、「語学力」40.7%という順になった。上位 3 項目は国内学生と大きな差がついている。海外の大学で英語を使って勉強に励んだり、異文化の中で苦労したことで身につけた柔軟性が、大きな自信となっているようだ。特に、「語学力」は国内学生が 5.7%と、最もポイントの低い項目になっており、35 ポイントもの開きがある。グローバルなビジネスを展開できる人材としての可能性という点において、語学力が海外留学生にとって大きなアドバンテージになっているといえる。



10. 留学の目的、達成目標

留学の目的、達成目標について聞いた。「語学力の向上」が1位で73.1%、以下、「海外生活を体験すること」が66.3%、「専門分野の知識習得」が64.8%となっており、「就職活動のためのネタづくり」は12.6%であった。就職のためだけではなく、海外の大学で何を得たいか、明確な目的意識を持って留学に臨む学生が多いことがわかる。



■留学がキャリア観や就職活動に与えた影響

- 目標志向、論理的思考、ストレス耐性や柔軟性など異文化の中で暮らした苦勞の末にしか得られないものだったと思います。これらは多大な影響を与えたものだとして認識しています。 <文系男子>
- 日本の国際社会における影響力の低下を痛感したため、グローバルな舞台で活躍できる会社、日本社会に大きく貢献できる会社で働きたいと思うようになった。 <文系女子>
- 視野が広がったと思います。狭い日本だけでは知り得なかった世界をみて、体感したことによって就職活動においても、有名企業に絞るなど日本の大学生がやってしまいがちなことをせずすみしました。 <理系女子>
- 思っていたほど海外勤務したくない。日本の良さを改めて実感した。 <文系男子>
- アメリカ人と日本人の就職に関する考え方が違いすぎて、アメリカ人のペースで就職について考えていたらすっかり出遅れてしまった。 <理系女子>

《調査概要》

調査対象：CFN (www.careerforum.net) に登録している日本人留学生 7,414 人
 調査方法：インターネット調査法
 調査期間：2012年2月17日～3月4日

回答者の属性						現在の就職活動状況	
	単位：人					全体	
留学形態	全体	文系男子	文系女子	理系男子	理系女子	採用内定を得て、就職活動終了	97
正規留学	304	104	132	42	26	採用内定を得ているが、就職活動継続中	31
交換・派遣留学	72	27	36	7	2	就職活動中だが、採用内定を得ていない	141
語学留学	11	4	5	2	0	インターンシップ中	24
その他	11	1	6	2	2	具体的な就職活動を始めていない	89
合計	398	136	179	53	30	その他	16
						合計	398

※国内学生の調査結果は「日経就職ナビ 2013 就職活動モニター調査」(2012年1月、2月調査)より